

12 月修繕委員会報告

2022-12-24 修繕委員 稲吉 cc 稲垣

●大規模修繕工事「給水増圧ポンプオーバーホール」について

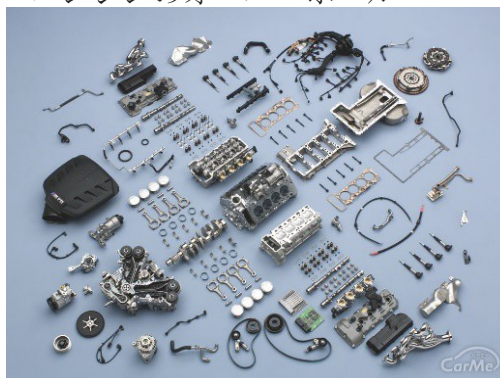
- NET で数軒の有資格ポンプ事業者を確認したが、「修理」や「取換え」は実施するが「オーバーホール」は行わないとのこと。1 社にオーバーホールの見積りを依頼中(期待できない?)
- 荏原製作所に確認した所、「オーバーホール」は実施せず、「新 JES 契約(点検＋緊急出動)」を実施中(次ページ)。

・今後の進め方(提案)

1. 管理会社が準備中の「オーバーホール」の中身を精査する
2. オーバーホールは行わず、エバラに点検を頼む(現状は B,C 報告の放置、配管錆び、弁の閉鎖など問題あり。メーカ/専門家の点検が必要)。その結果、必要になった修理を実施する。
点検費用は予備費を充当(100,000 円)。

オーバーホールとは、機械製品を部品単位まで分解して清掃・再組み立てを行い、新品時の性能状態に戻す作業のことである(Wiki)。

エンジンのオーバーホール



定期点検＋緊急出動で 安心プラン



定期点検＋緊急出動対応のプランです。
定期点検を実施することによって、断水発生のリスクを低減します！

基本プラン内容

- ① 定期点検＋緊急出動対応です。^{※1}
ポンプ故障などによる点検・修理等のご依頼は、状況を伺い、必要に応じて電話対応、又は技術者の出動手配を行います。^{※2}
- ② 年1回又は年2回の定期点検を実施致します。

定期点検の内容

- ポンプ、電動機、制御盤、圧力タンク、センサ類の点検
- 運転制御の点検
- 逆流防止装置の点検
(直結給水ブースタポンプの場合)

■ 点検の豆知識 ■

- 圧力タンクの封入圧は必ず定期的な確認が必要です。
圧力タンクの空気が抜けた状態に気付かずに運転継続するとポンプの発停頻度が多くなるため、各部品への負担が大きくなり、故障の原因になります。
- 減圧弁も点検のときには確認・調整が必要です。(※減圧弁使用の場合)
加圧給水装置附属の減圧弁は一定の圧力で水を送るために必要な部品であり、設定値にずれが生じると、蛇口からの水圧に影響します。
- 逆流防止装置は性能・機能を適正に保つために、年に1回の点検を行うことが義務付けられています。
逆流防止装置は直結増圧給水ポンプユニット内に設置されています。専用の点検キットを使用することによって、内部弁体の状態を把握し逆流防止を確認できます。
※詳細は各水道事業体の指針に従ってください。
※定期点検には、部品交換、対象機器及び接続配管の分解修理等は含まれません。

対象機器 口径、出力は問いません！

- 給水ポンプ** ■ 加圧給水ユニット
■ 直結給水ブースタポンプ
■ 揚水ポンプ
- 陸上ポンプ・水中ポンプ・送風機**
※当社製品以外も承っております。

オプション

- 複数回点検
- 遠隔監視 (遠隔監視用通信装置を設置する必要があります)
- 給水ポンプ5台以上の包括契約割引^{※3}

契約金額

対象機器ごとに金額が設定されておりますので、詳細は最寄りの支社・支店・営業所にお問い合わせください。

※1 緊急出動点検の範囲は、異常の原因を究明するための対象機器の外観点検、作動点検及び調整作業に限られ、部品交換、対象機器及び接続配管の分解修理等は含まれません。
※2 地域によって緊急出動体制及び内容が異なります。詳細は最寄りの支社・支店・営業所にお問い合わせください。
※3 3年契約オプションと5台以上の包括契約オプションは、同時にはご利用になれません。

